

WEEKLY NEWS 第2640地区 和歌山東南ロータリークラブ 2011-2012年度

例会日：水曜日

第1・第2 夜間・18:30～

第3・第4・第5 昼間・12:30～

例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10

事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23

サイバーリンク N-4ビル2階

TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200

<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>

E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp

会長：溝落和作 幹事：籠田 弘
クラブ会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏



週報
通算 1976回
16号



テガタドリ ラン科 多年草
開花期 七月～八月

本日の例会
11月 16 日(水)
12:30～華月殿

ロータリーソング：それでこそロータリー
行 事：IDM発表②
ロータリー情報・規定委員会

次回の例会
11月 30 日(水)
12:30～華月殿

行事：大澤ガバナー公式訪問

先週例会報告

ゲスト・ビジターはございません。

会場監督 中谷敬子

会長報告

溝落和作 会長



○本日会長幹事会があり、花いっぱい推進協議会への協賛金（30万円：クラブ3万円）が贈呈されました。
○11月6日(日)JR和歌山駅西口花壇の花の植え替えに籠田幹事、向井社会奉仕委員長と参加してきました。
○11月23日(水・祝日)に開催されます 南RCとの社会奉仕共同事業に多数の会員の皆様の参加、よろしくお願ひ致します。

幹事報告

籠田 弘 幹事



- 1) アンコール小児病院 赤尾様よりレポートが来ています。各卓に置いていますのでご覧下さい。
- 2) 11月13日(日)「一万人次大清掃」の集合場所等の案内を各卓に置いています、ご都合のつく方はご参加下さい。
- 3) 南RCの五十年記念誌を回覧致します。ご覧ください。

ニコニコ箱

山田さち子会計



溝落君・籠田さん、写真有難うございました。
山田(さ)君・IDM皆様、おつかれ様です。
配偶者お誕生日御祝い・中村君、片畠君。

米山奨学会

山田さち子会計

山田(剛)君・がんばろう！米山。

ロータリー財団

山田さち子会計

寒川君・先月ジャズマラソン出場しました。今週は日置川マラソンです。
山本君・財団月間、よろしく。
津川君・ロータリー財団委員長、ご苦労様です。
堀君・すっかり寒くなりましたね。

東南育英会

山田さち子会計

堀君・又、明日から佐賀県に行ってきます。



『ロータリアンの10徳』

① 交流関係が広くなる。



出席報告	出席者	出席率
会員総数	51名	11/9 39名 78.00%
出席免除会員	2名	10/26 45名 90.00%

ニコニコ 米山奨学金 ロータリー財団 東南育英会 東日本大震災義援 BOX

累計 1,017,077 110,000 221,000 7,000 37,000

クラブフォーラム ロータリー財団委員会

「1990年4月、秋のブラジルGSEについて」 ロータリー財団委員長 寒川高男

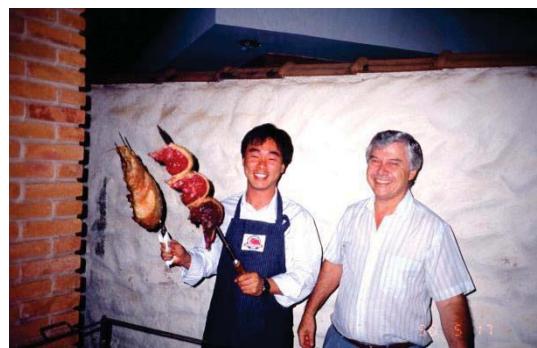


本日は、クラブフォーラムでロータリー財団委員会より発表いたしました。この財団から授与される補助金によって研究グループ交換（GSE）の旅費が各地区に支給されます。

私は、当時榎本ガバナー、中島さん、吉川さんらのご尽力で、小島哲団長のもとに、このGSEに参加できました。和歌山中RC推薦でした。医師として、参加者の健康管理の使命もありました。

ブラジルの462地区のロータリアンの自宅にホームステイして、朝から病院や工場、役場、農園など多彩な所に研修に行きました。夜は例会に出席して、発表をしました。帰宅はいつも夜遅くになりました。多くのRC関係の方々、日系ブラジル人にお世話になりました。40日もの長期の研修は、なかなか経験のできない貴重なものでした。20年以上たった今でも、朝の少し肌寒い乾燥した風に吹かれると、あのブラジルでの心地よい早朝の風景を思い出し、心が和みます。GSEで得たことは、人ととの出会いの大切さでした。このことが、私をロータリークラブ入会の動機となりました。

現在私は和歌山東南ロータリークラブに入会していますが、例会に出席すればするほど、会員のことを知れば知るほど、すごい人々の集まりなんだなと痛感しています。この様な素晴らしい会員の方々と出会いできたことに、その機会を作ってくれたGSE、ロータリー財団に深く感謝しています。



「ロータリー財団について」 ロータリー財団副委員長 山本唯二



ロータリー財団の使命、標語、優先事項

使命；ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への使命を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること。

標語；「世界で良いことをしよう」

優先事項；未来の夢計画に沿った、総てのプログラムと運営を簡素化する。当地区は2013年度より実施の予定。それまでクラブレベルで準備を進める必要があります。

未来の夢計画に基づく補助金

1, ロータリー財団の地区補助金

地元社会でも海外でも、ロータリーのない国でも事業を実施できます。

2, ロータリー財団グローバル補助金

- ・ 平和と紛争予防／紛争解決
- ・ 疾病予防と治療
- ・ 水と衛生設備
- ・ 母子の健康
- ・ 基本的教育と識字率の向上
- ・ 経済と地域社会の発展

以上6つの重点分野を設定集約したのです。その為に今までの財団の使命が見直され「ロータリアンが、(世界の貧しい人たちの)健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済する事を通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」としました。

職業研修チーム委員会（VTT）

職業研修チームとは

国際ロータリー財団職業研修チームは、グループ交換（GSE）プログラムの（未来の夢計画）次世代プログラムとして誕生し、より世界社会貢献度の高いプログラムになりました。チーム・メンバーはある程度の期間受入国の制度や生活様式を観察し、他国における自分と同じ職業の実践の様子を理解し、個人的かつ職業上の関係を育み、意見等を交換し合いながら研修します。

なぜ参加するのか？

このプログラムは一生に一度の充実した体験を味わい、専門分野についてより理解を深め、文化的な視野も広めることができます。また歴史や職業等に関する新たな理解を得ることによって、社会貢献に寄与することになります。

プログラムの内容

通常分野毎の職業に携わるロータリアン以外のメンバーと1人のロータリアンにより、チームが構成されます。実施期間は、概ね2週間とします。研修期間中、受入地区内の企業、地元団体等を訪問し、母国と自らの職業について討論を行います。出発前には、派遣ロータリー地区内においての職業に関する問題点を鮮明にし、オリエンテーション等で問題解決をプランします。

提供されるもの

各チーム・メンバーに対して自国から受入国までの最低価額の往復航空運賃及び、受入地区滞在中の食費、宿泊費、移動費が支給されます。研修前後及び研修期間中に生じた個人的費用や雑費は、総て自身の負担となります。

 **熊本東南RC訪問「ビール列車 親睦例会」9月2日(金)・3日(土)**
参加者：南・太田・吉田・駒阪・津川・中板・溝落会員















市の玄関口を美しく RCと花植え替え

推進協議会

RCCと花植え替え

わかやま 新報 SHIMPO

11月 12日
土曜日

2011年(平成23年)第19647号
(日曜・祝日・休日翌日休刊)

和歌山市内の10
ロータリークラブと
NPO法人花いっぱい
い推進協議会森川
勝会(は)のほか、年
JR和歌山駅西口前
の花壇をバージー¹
ハボタンなど秋から
春にかけての花に植
え替えた。
15人が参加。手袋を
市内10ロータリー
クラブは、平成15年
00株の花を丁寧に

和歌山市内10
ロータリークラブと
花壇の世話を依頼
し、毎年協賛金30万
円を贈っている。毎
年11月に合同で植
え替えた。
川辺(は)は「市のす
ぐ」と笑顔で話して
いた。

リーカラブの井知
の町自体の美観を
子さん(63)は花
壇を交換されにな
りました。今後も続
けていきたい」森
本當にうれしいで
植えた。

これからの季節にぴったりの花の苗を植えた

